

未来のまちを描く 第一步

令和8年8月11日(火)、市議会議場で『第3回加西こども議会』を開催しました。こども議員3期生に応募された市内の小学6年生15名が参加し、模擬議会体験を通して議会や行政の仕組みを学び、地方自治への関心を育みました。

こども議会の議長役は、八島帆乃果さん(泉小)、大藤ひらりさん(賀茂小)、小谷美緒さん(賀茂小)の3名が務め、しっかりと議事を進めました。

当日行われた質問と答弁の概要を紹介します。



加西市の自然環境を活かした公園づくりについて

1番 岡田 愛莉 議員(泉小)

質問 加西市では公園の遊具や設備の点検、草刈りや清掃などは、どのように行われていますか。また、どのような基準で修理や新しい遊具の設置を決めていますか。

答弁 市が管理する遊具は、専門業者による定期点検を行い、安全に利用できるか確認しています。草刈りや清掃は、市が計画的に実施しています。遊具の更新は、老朽化の状況や安全性、公園の利用者数や地域の要望などを総合的に考えて決めています。



市民の意見を市政に届ける市議会議員の仕事について

2番 小谷 駿平 議員(九会小)

質問 議員の仕事の中で、一番大変なことや、一番やりがいを感じることは何ですか。子供でも市議会や市へ意見を伝えることはできますか。

答弁 「困っている人が多いこと」「安全に関わること」「市全体のためになること」などを考えながら、市役所に改善をお願いしたり、市議会で質問や提案をしています。子供の皆さんの考えも大切な意見です。これからもぜひ、気付いたことや考えたことを周りの大人や市議会に伝えてください。



耕作されていない農地の管理について

3番 春藤 義仁 議員(泉小)

質問 加西市の耕地整理されていない農地や、管理する人がなくなった農地をどのように守っていると考えていますか。

答弁 農業を守ることは加西市にとって大切なことです。農業は食べ物を作るだけでなく、美しい景色の保全や災害を防ぐ役割もあります。そのため、農家の皆さんや地域の声を聞きながら、市議会としても市とともに必要な支援を検討する必要があると考えています。



加西市の人口減少について

4番 西山 三葵 議員(北条小)

質問 若い人や子育て世代に「加西市に住みたい」「住み続けたい」と思ってもらうために、どのような取組を進めているのでしょうか。

答弁 子育て世代に選ばれるまちを目指し、「子育て応援5つの無料化」として、保育料や給食費、こどもの医療費、病児・病後児保育の利用料、乳幼児のおむつなどの無料化を行っています。また、企業を誘致して働く場所を増やしたり、移住者への支援を行っています。



加西市の子育て支援について

5番 小谷 美緒 議員(賀茂小)

質問 子育てしやすいまちにするために、新しく考えている取組や、もっと充実させたいと思っている支援があれば教えてください。

答弁 これからは、「子育て応援5つの無料化」をたくさんの人に知ってもらうための取組や子育てへの支援だけでなく、安全に遊べる公園や安心して学べる学校、放課後の居場所づくりなど、子供たちが元気に成長できる環境を充実させることも大切だと考えています。



みんなが気持ちよく暮らすためのマナーについて

6番 大森 創志 議員(北条東小)

質問 日本人も外国人の方も、お互いにルールやマナーを守り、みんなが気持ちよく暮らせるために、市議会ではどのようなことを話し合っているのか教えてください。

答弁 市議会では、市民の皆さんが安心して暮らせるよう、生活環境を良くするための取組や、多文化共生のまちづくりについて取り組んでいる加西市グローバルセンターとの意見交換会を実施しています。



草刈りの対応と安全なまちづくりについて

7番 小川 詩音 議員(賀茂小)

質問 高齢化が進んで草刈りをする人が少なくなっている地域に対して、市が草刈りを手伝ったり、専門の業者をお願いしたりすることは考えていますか。

答弁 市議会では、地域の皆さんだけに負担をお願いするのではなく、高齢化が進む地域への支援のあり方や、必要に応じて専門業者を活用することなどについて、市とともに考えていく必要があると認識しています。